

未知普請（みちぶしん）活動の推進

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
近畿全域

社会が成熟し、価値観の多様化が進むなか、公共事業のあり方にも変革が求められています。

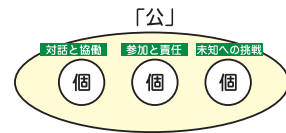
鎌倉時代には、「道普請」という言葉が盛んに使われていました。近畿地方整備局では、「道」に「未知」をあて、道路だけでなく河川や公園などの公共施設も含め、未来を切り開く意も込めて、「未知普請」精神を広く育むべく、平成14年度から「対話と協働」、「参加と責任」、「未知への挑戦」の3本柱をもって「未知普請」活動を推進しています。

平成17年度には、4月16、17日に未知普請近畿大会in紀南を和歌山県田辺市で開催しました。また、9月24日には、シンポジウム「未知普請in御堂筋」を大阪市で開催しました。

平成18年度は、引き続き啓発活動を推進するとともに、近畿地方整備局と各府県が緊密に連携し、対話型行政に向け積極的な活動を推進します。

未知普請近畿大会

未知普請近畿大会in紀南は、「協働と交流～つなげよう 明日へ 未来へ～」をテーマに開催し、2日間で延べ約950人の方々に参加頂きました。大会では、5つの分科会「美しいまちづくり」「震災…私たちに出来ること」「よみがえれ！海・山・川」「熊野・古道ふれあい文化～くらし、祈り、祭り～」「紀州っ子のまちづくり」に分かれ、各活動団体から『未知普請』の精神に通じる取り組みや活動の発表が行われました。会場では参加者間での様々な視点からの意見交換が行われ、今後の紀南地域の官民協働のネットワークをより強いものとする事ができました。



美化活動

現代の道普請－それは地域とともに公共事業を考え、豊かな社会を創造していくことです。地域のみなさんが美化活動等を通して「公」を「共」に創るという「未知普請」活動で地域の輪を広げています。

市民の声

未知普請近畿大会では、分科会③の「よみがえれ海・山・川」で、私たちが天神崎（和歌山県田辺市）で行っている環境活動の報告を行いました。大会に参加して、様々な活動を行っている他団体の方々と交流が深められ、今後の自分たちの地域づくり・まちづくり活動を推進していくための貴重な機会となりました。
NPO法人環境教育技術振興会 岩本光紀



地域の方々による美化活動（京都府加悦町：算所婦人会）

歴史的遺産を活かした賑わい・交流の拠点となる公園整備

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
国営飛鳥歴史公園

奈良県明日香村は、数多くの重要な歴史的文化的遺産が存在し、これらが周囲の自然・人文的環境と一体となり貴重な歴史的風土を形成しています。しかし、村の周辺に急速に開発の波が及び歴史的風土の保存が危ぶまれるようになりました。貴重な歴史的風土を良好な状態で保存し、後世に伝えるとともに、住民生活の向上をはかることを目的として国営飛鳥歴史公園の整備を行っています。

国営飛鳥歴史公園は昭和45年の閣議決定に基づいて整備を行い、平成6年4月に祝戸、石舞台、甘樫丘、高松塚周辺の4地区を概成開園しています。また、平成13年3月、5番目の地区としてキトラ古墳周辺地区を整備することが閣議決定されました。この地区は既開園4地区と連携しつつ、歴史的風土及び文化財等の保存と活用による体験型学習を主要な機能として位置付けています。

地域住民と観光客が一体となって交流できる公園整備を行うことによって飛鳥地方の振興につなげていきます。

遺跡周辺の保存、万葉集に歌われた風土や伝承の地など、歴史的に重要な地形、眺望の保存を行うことにより、奈良県をはじめとする近畿圏の他、東京都や中部地方からといった遠隔地からの来園者を含め、年間約100万人に利用されています。また、公園ボランティア組織「飛鳥里山クラブ」によるイベントを支え、自らも楽しむボランティア活動、地域と連携したイベント活動も盛んに行われています。

平成18年度は、キトラ古墳周辺地区の用地買収を進めるとともに、「日本人の心のふるさと」をテーマに、古くから地域生活と密着した飛鳥らしい里山景観を再生していく事業整備を進めていきます。



国営飛鳥歴史公園位置図



里山仕事体験「落ち葉かき」（飛鳥里山クラブ）



キトラ古墳（平成12年撮影）



キトラ古墳石室内部

総合学習への支援

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
近畿全域

近畿地方整備局では、わかりやすい国土交通行政を進めていく取り組みの一環として、次世代を担う小学生及び指導される先生方に活用いただくことを念頭において、「学習副読本」の作成を行うとともにそれをういた見学会や「総合的な学習の時間」への取り組みを進めてきました。

平成18年度には、教育機関との連携をさらに強化し、作成された「学習副読本」を使用して、総合学習の支援を行うとともに我が国の国土交通行政の取り組みに親しんでもらう機会の提供に努めていきます。



学習副読本を使用した総合学習の様子



みなとの見学会



企業への取材活動



みなとの総合学習の様子

地域再生、観光立国推進による地域や経済の活性化

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
近畿全域

日本風景街道（シーニックバイウェイ®・ジャパン）

美しい景観や活力ある地域づくりのため、地域固有の自然、歴史、文化、風景などをテーマに、地域コミュニティの再生を目指した美しい道路空間の形成に取り組みます。

平成18年度は、昨年度応募された近畿地方整備局管内の12ルートについて、活動内容の調査を行い、日本風景街道（シーニックバイウェイ・ジャパン）を促進します。

用語解説

※シーニックバイウェイとは、シーニック（景観）とバイウェイ（脇道／沿道）を組み合わせた言葉で沿道景観の保全と地域の活性化を目指して、アメリカでは1989年より取り組まれている。現在、北海道を始めとして、日本でも本格的な取り組みが開始されている。



日本風景街道の取組の4つの視点



地域のみちづくりパートナーシップが行う事業を、国、戦略会議がサポート

